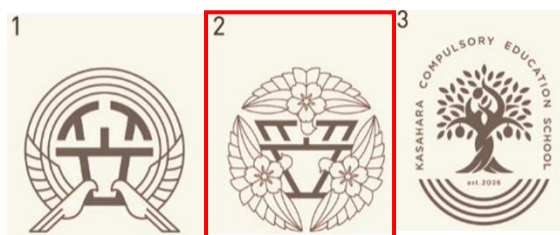


素敵な未来を想像しながら…

3月11日(月)の研究会では、これまでの進捗状況とともに『(仮称)笠原こども園』について説明がありました。園舎建設に向けた動きについて詳しい説明があり、その内容にかかわって活発な意見交換がなされました。ひとつひとつの形が見えてくると、実際の工事や園生活を想像しながら様々な考えが浮かんできます。15日(金)には、小学校児童の仮設校舎へのお試し登校もありました。考えていくべきことはたくさんありますが、素敵な未来を想像しながらみんなで力を合わせて前に進めていきたいものです。(ということで第2号から、タイトルを『幼保小中ニュース』に変えました!)

☆笠原小中学校の校章が決定!



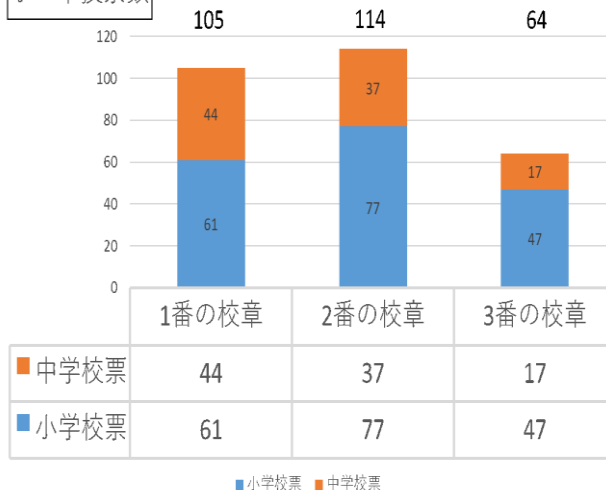
◎最も多く票を得たのは2番の校章になりました

回答率は小・中学校で56%でした。

小学校 54%(185名/340名)

中学校 59%(98名/164名)

小・中投票数



☆制服アンケートの結果について

1月に行った服装等に関する調査の結果については、次のとおりとなりましたのでお知らせします。

	笠原小学校	笠原中学校	合計
制服・セーラー服	93人	37人	130人
ブレザー	113人	35人	148人
ジャージ	55人	17人	72人
私服	28人	9人	37人
合計	289人	98人	387人
回答率	85.0%	59.8%	76.8%

今回の調査では、「ブレザー」スタイルを選択された方が一番多いという結果になりました。一方で、現行の「制服・セーラー服」スタイルを選択される方も多く見られました。

前回の意向調査より、「価格面の不安」「使いまわしの有無」等について、多数意見があったことをふまえ、「ブレザー」スタイルへの変更を進める中で、「価格」や「移行期間」等についてさらに検討していく必要があると考えています。

さらに、体操服や靴、靴等についても今後の検討事項となってきます。これらについては、学校代表・保護者代表・教育委員会で設置する「制服等検討委員会」を立ち上げ、具体について協議していく予定をしています。

杜

笠原幼保小中ニュース

《第 2 号》

令和6年3月

笠原幼保小中一貫教育研究会

多治見市教育委員会

多治見市福祉部子ども支援課

☆小学生のお試し登校の様子

4月から中学校の敷地内に建設されたプレハブ校舎での生活が始まります。4月のスタートをスムーズに行うため、3月15日（金）にお試し登校を実施しました。本年度立ち上がった『オールかさはら 創生 笠原の明日を考える会』のみなさんのご協力もあり、安全にお試し登校を行うことができました。ありがとうございました。

仮設校舎にたどり着いた小学校の子どもたちは、新しい学び舎での生活に胸を躍らせていました。



「笠原保育園」「笠原幼稚園」は統合して、 新しい「笠原こども園」になります

令和元年度から始まった幼児教育・保育の無償化や、保護者の就業率の増加に伴い、保育園のニーズは高まっていますが、一方で幼稚園の利用者は少子化の影響もあり、年々減少しています。

笠原地区は幼稚園、保育園、小学校、中学校があり、従来から幼保小中一貫教育に力を入れてきた経緯があることを踏まえ、笠原小中学校の開校に合わせ、幼稚園・保育園についても統合して幼稚園・保育園両方の機能を併せ持つ幼保連携型認定こども園として新しく整備する方針を決定しました。令和8年4月の開園に向けて、令和6年度から現在の笠原保育において増改築工事を開始します。

<認定こども園とは？>

幼稚園と保育園の良いところを生かし、その両方の機能を併せ持った施設です。平成18年度に制度化され、全国で多くの認定こども園が誕生しています。認定こども園は、多治見市内に私立で2園あり、公立としては笠原こども園が初となります。

<保育・教育の内容はどう変わる？>

従来の保育園、幼稚園で実施している内容から基本的に変わることはありません。保育園部・幼稚園部ともに同じ保育室で過ごします。

<どんな工事が行われる？>

令和6年度は、現在の園庭部分に増築園舎を新たに建築する工事に着手します。また、園庭を拡張整備するとともに、仮設園舎を設置します。

<総事業費は？>

総額で約14億4千万円を見込んでいます。主な内容は、園舎増改築工事、仮設園舎リース費用、備品購入費、笠原幼稚園の解体費用などです。

